



チョウせん
ごみ減量にサイ挑戦!
新潟市ごみ減量推進キャラクター「サイチョ」



令和8年 6月21日

3Rが進むまち
リデュース! リユース! リサイクル!

サイチョypress



ハガキでもどうぞ
ご感想募集中!

紙面内容は発行日に市ホームページに掲載されます

発行者/新潟市環境部循環社会推進課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL:025-226-1391

TOPIC

ごみと資源の種類とゆくえ

新潟市のごみの分別は10種13分別となっています。今回は燃やすごみ・燃やさないごみ・粗大ごみについて、どのような流れで処理されていくかを紹介します。

今回は資源ごみの
処理の流れを
紹介するよ



ごみ
焼却・埋立処分されるもの

燃やすごみ	燃やさない ごみ	粗大ごみ

資源ごみ リサイクルされるもの

容器包装 リサイクルマーク	特定5品目 ●乾電池類・蛍光管・ライター ●水銀体温計・スプレー缶類	ペットボトル	飲食用・化粧品びん	飲食用缶	古紙類 (4分別)	枝葉・草

ごみの処理の流れ



ごみを碎いて小さくすることで、金属を選別し、効率的に焼却・埋め立てすることができます。

選別された鉄やアルミニウムなどは、資源として再利用されます。

ごみの処理にはこんなに手間がかかっていたんだね!
だからしっかり分別して、ごみを減らすことが大切なんだ。



※パースは完成イメージです

亀田清掃センターの建て替えを進めています

安定かつ効率的なごみ処理体制の構築に向け、亀田清掃センターの建て替えを行っています。施設の稼働は令和12年度を予定しています。施設は地下1階―地上5階建てとなっており、施設内には災害時の緊急避難場所や備蓄拠点としての機能を備えています。1日最大420tのごみを焼却することが可能で、これに伴う発電量は約75,000MWh/年を見込んでおり、これは一般家庭約25,000世帯分になります。亀田清掃センターについては、工事の進捗具合をみながら、紹介していきます。

